

令和4年度第2学期始業式 校長講話

長く暑い夏休みが終わりました。変わらず感染症対策が求められましたが、自分なりに有効に時間を使うことができましたか？

もうすぐ暑かった夏も終わり、秋になります。食欲の秋、読書の秋、芸術の秋とかいろいろな秋がありますが、学生である皆さんには勉学の秋も実践してほしいものです。

皆さんは、勉強していてわからないことがあったらどのように調べますか？おそらく、スマホやパソコンを使ってネットのwikipediaなどを見る人が多いのではないのでしょうか。学校の勉強で、いわゆる知識を覚えることも大切なのですが、先生たちも生徒が自分で調べることができることはそこに任せ、考える時間を多くとって限られた授業時間を有効に使うようになってきています。とにかく自分の頭の中で考え・まとめ・表現することを意識して2学期の授業もがんばってください。

ところで、小川高校の正門を入った正面の校舎の壁画がありますが、40数年前にこの絵を製作されたのは、建築家の田邊博司さんという方だそうです（壁画の右下にH.T.とイニシャルあり）。残された資料を見ると、田邊さんが製作にあたって考えたことが記されていました。それは、小川高校の地理的条件、校風、将来への理想の三つを櫛の木や丹沢と武蔵野の心象風景に表したものとこのことです。しかし、田邊さんは、壁画の中で「これは何ですか？」と聞かれても「私が題や注釈をつけるよりも、生徒諸君がこの中から何かを発見してくれるのを聞きたいので題は諸君につけてもらいたいと思います。」と答えるそうです。確かに、この壁画は見る角度やその日の天気、またその日の自分の気分・やる気や体調によって見え方が異なるような気がします。

田邊さんはこの壁画の「主題はない、自分で考えて」とおっしゃりましたが、これからの社会で活躍する皆さんも、はっきりとした答のない問いに思いを巡らして解決策を見つけていくことが求められる。先ほど意識してほしい、と言った授業への姿勢は、このことと強い関連性がある

るはずです。

今日からの2学期は、勉強だけでなく文化祭や3年生の進路活動等、皆さんの力を発揮する場がたくさん待ち受けています。漫然と過ごすのではなく、それぞれの行事や活動の意味を自分なりに解釈し、「どうしたら=How」うまくいくかな、と考えてみてください。それが皆さんがこれからの社会を生き抜く力となるはずです。